

☆☆☆ 大阪でんきレター ☆☆☆



今月のトピック

- ◆社長のひとり言
- ◆私の娘の平均寿命は・・・
- ◆スタッフ紹介



社長のひとり言

「考えて行動すること」

先日、私が全国チェーンの牛丼屋さんで持ち帰りの商品を注文し、待っていた時の話です。登場人物は店員Aさん、店員Bさん、お客Cさん、お客Dさんです。

お昼時だったので店内は満席で中待ちもある状態でした。お客Cさんが食事を終え、レジに伝票を置き、「無言」で清算を待ちました。それを見た店員Aさんは両手に出来上がった牛丼を持っていたので「ありがとうございます、しばらくお待ちください」と言ってお客Cさんの前を通過しました。

その状況でお客Dさんが、2台あったレジのもう一方にお客Cさん同様レジに伝票を置きました。それに気が付いたのは店員Bさんでした。店員Bさんは、お客Dさんに「ありがとうございます」と言ってお客Cさんの前を通過しました。店員Aさんは牛丼を持って行った時に他のお客様への対応中です。

お客Cさんは、哑然として店員Bさんとお客Dさんを見つめています。清算を終えて、立ち去る店員Bさんは別の作業に。お客Cさんは、「無言」で呼び出しベルを鳴らし、気が付いた店員Bさんがレジの清算をしました。お客Cさんは「無言」で立ち去りましたが、そのときどんな気持ちでお店を後にしたのでしょうか？

この出来事は、誰が悪いとか、ここをこうすればよかったとか、何かのケーススタディのつもりで引き合いに出したわけではありません。ただ、あくまで個人的な意見として「考えて行動すること」を忘れてはならないのでは？と考えます。

サービスは相手(お客様)の「考えること」を奪い去ることはありません。お客様は食事をしに来ただけで「考えること」をやめに来たわけではありません。少し「考え」れば、言動が変わっていたかもしれません。

「GIVE GOOD」の精神の話をアキラニューズVOICER②で書きましたが、「ここで「考えている」だけでは何も始まりません。「考えて」行動することの大切さ、行動が大事です。

思考←言葉←行動←習慣←性格←運命。過去の偉人たちや現代の一流と呼ばれる人々はこのような順序を自然と理解し成功しているとも言われます。さあ、習慣から先を「自身で築き上げましょう！」

私も負けてられません。まずは減量から・・・。



としたろう
山本 利太郎

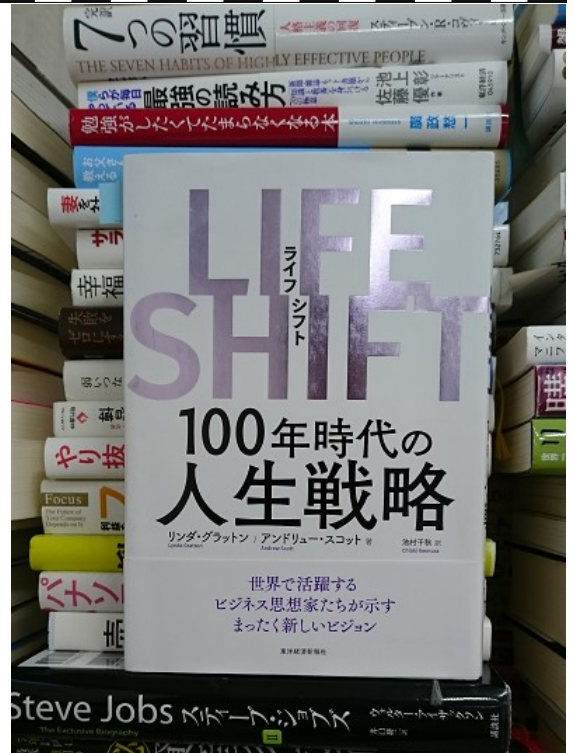
私の娘の平均寿命は・・・

私には10歳になる長女がいるんですが、彼女が100歳以上生きる確率は50%だそうです。正確には2007年生まれの半分以上が107歳まで生きるそうです。なんとなくピンときませんか…。現在のように、定年退職が65歳だとしたら、定年後に40年以上も生きることになります。

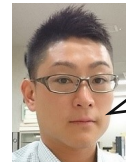
教育→仕事→引退、というのは平均寿命が70歳前後の人生戦略で、平均寿命が100歳になると新しい人生戦略が必要なんですよ、というお話。お金の問題がすべてではないのですが、定年後40年を年間300万円で生活したら、1億2千万円(驚!)

長寿化で増えた時間をどのように過ごすのか! ?というのが一つのテーマになる。答えの一つが「余暇時間をレクリエーション(娯楽)から自己のリ・クリエーション(再創造)への時間に使う」というもの。人生も、ライフスタイルも多様化するなかで、その変化に対応できるように教育に投資したり、人脈作りに投資する時間につかきましょう! というものです。

今の年齢のあなたをどう見るかではなく、70歳、80歳、100歳になった自分が今の自分をどう見るかを考えてほしい。いま、あなたが下そうとしている決断は、未来の自分の厳しい評価に耐えられるだろうか?(37ページより)



様々な本や新聞、雑誌に引用されている
ベストセラー



原 良

「金融リテラシー」。日本人があまり得意ではないお金についての知識も必要だと思わされます。

スタッフ紹介



うちやま こうへい
内山 康平

生年月日：H2年3月23日
年齢：27歳
血液型：A型
趣味：旅行
将来の夢：海外旅行

入社6年目の内山と申します。

数年前に友人たちとキャンプ用品や、スノーボード用品を買い揃え、アウトドアな趣味を持つと思い立ちましたが、2年ほどで飽きてしまい、今では全く行かなくなっていました。

最近、休日は引きこもりがちになってしまっているため、道具を引っ張り出して今年からスノーボードでも再開してみようかと思っています。

大阪でんきレターは“月刊”です。あなたのアドバイス、ご意見を下記アドレスにいただくと励みになります。

大阪電機商事(株)

富山県富山市新庄本町1丁目5番34号

TEL：076-451-4100 FAX:076-451-3599

yoshii@osakadenki.co.jp (吉井 俊邦)

